

高校歴史総合プリント（過去問類似）

国際秩序の変化や大衆化と私たち No.7

名前

得点

/10

問1 1945年8月、日本政府はポツダム宣言の受諾を連合国側に通告し、同年9月2日に東京湾上のアメリカ軍艦ミズーリ号において、連合国に対する正式な調印式が行われた。この調印式で日本政府および大本營の代表が署名した文書は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 三国同盟 2. 防共協定 3. 降伏文書 4. 終戦詔書

問2 第一次世界大戦後に提唱された民族自決の動きや、前韓国皇帝の急逝などを背景に、1919年3月1日にソウルで独立宣言が読み上げられたことを契機として朝鮮全土に広がった、日本の植民地支配に抵抗する最大規模の運動は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. スワデーシ運動 2. サヤ・サン蜂起 3. 二・八独立運動 4. 三・一独立運動

問3 第一次世界大戦期、ヨーロッパからの輸入途絶を契機に科学技術の振興と産業の国産化が急務となる中、1917年に政府や財閥の出資によって設立され、のちに多くの関連企業を傘下に収めて新興財閥へと発展した研究機関は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 帝国学士院 2. 学術研究会議 3. 伝染病研究所 4. 理化学研究所

問4 第一次世界大戦において、イギリスなどの参戦国では、前線の戦闘員だけでなく、銃後の市民や産業、科学技術など国家の全リソースを戦争遂行のために動員する体制がとられた。この結果、女性の社会進出が進み、戦後の女性参政権獲得へとつながった。このような戦争の形態を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 電撃戦 2. 消耗戦 3. 持久戦 4. 総力戦

問5 1930年、立憲民政党内閣は、海軍軍令部などの強い反対を押し切って、補助艦の保有量を制限する国際条約に調印した。この調印は「統帥権の干犯」であるとして、野党の立憲政友会や海軍の強硬派から激しい非難を浴び、のちに首相が狙撃される事態を招いた。このとき調印された条約は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. ワシントン海軍軍縮条約 2. ロンドン海軍軍縮条約 3. 日中平和友好条約 4. サンフランシスコ平和条約

問6 1917年のロシア革命（十月革命）において、レーニンに率いられて武装蜂起を敢行し、臨時政府を倒して政権を握った、ロシア社会民主労働党の多数派に由来する左派勢力を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. ボリシェヴィキ 2. メンシェヴィキ 3. デカプリスト 4. ナロードニキ

問7 第一次世界大戦後にロシア帝国から独立したものの、第二次世界大戦中の1940年に、前年に結ばれた独ソ不可侵条約の秘密議定書に基づき、ソ連によって強制的に併合されたエストニア、ラトヴィア、リトアニアの地域を指す総称として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. バルカン諸国 2. ベネルクス3国 3. イベリア半島 4. バルト3国

問8 1929年に発生した世界恐慌の影響が日本に及ぶなか、1931年末に成立した立憲政友会の内閣は、金本位制から離脱して輸出の回復と景気刺激を図るため、どのような政策をただちに断行したか。その名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 時局匡救事業 2. 金輸出再禁止 3. 金本位制離脱 4. 金輸出解禁

問9 1930年、日本政府は補助艦の保有比率を制限する国際条約に調印した。しかし、海軍軍令部や野党などは、軍令部の反対を押し切って条約に調印した政府の行為は、大日本帝国憲法における天皇の権限を侵害するものであるとして激しく非難した。この調印・批准をめぐる発生し、のちの軍部の台頭を招く契機となった政治問題を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 統帥権干犯問題 2. 日比谷焼打事件 3. 天皇機関説問題 4. 憲政擁護運動

問10 大正デモクラシー期から昭和初期にかけて、衆議院の第一党の党首が政権を担当し、失政があればもう一方の野党第一党に政権が移行するという、二大政党制に基づく政党政治の慣例が成立した。大日本帝国憲法に規定がないにもかかわらず、1932年の五・一五事件まで機能したこの慣例を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 満蒙生命線 2. 東亜新秩序 3. 憲政の常道 4. 新体制運動

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 3 降伏文書	1945年8月14日にポツダム宣言受諾を決定した日本政府は、同年9月2日、東京湾に停泊するアメリカの戦艦ミズーリ号において、重光葵外相（政府代表）と梅津美治郎参謀総長（大本営代表）が署名を行った。これにより、第二次世界大戦および太平洋戦争は正式に終結し、日本は連合国軍の占領下に入ることとなった。
問2	答え 4 三・一独立運動	第一次世界大戦終結後の1919年、アメリカ大統領ウィルソンが唱えた民族自決の原則に刺激を受け、日本統治下の朝鮮で発生した大規模な抗日独立運動である。この運動の激化を受けて、朝鮮総督府は憲兵警察制度を廃止するなど、従来の武断政治から文化政治へと統治方針を転換した。
問3	答え 4 理化学研究所	第一次世界大戦の勃発により、それまでヨーロッパに依存していた医薬品や化学製品、機械類の輸入が途絶えた。これを受けて、科学技術の自立と国産化を推進するため、1917年に渋沢栄一らの提唱や政府・皇室・財閥の出資によって設立された。同研究所はのちに研究成果を事業化し、多数の企業を擁する新興財閥（理研コンツェルン）へと発展した。
問4	答え 4 総力戦	第一次世界大戦は、従来の軍隊同士の戦闘にとどまらず、国民全体を動員して戦う総力戦となった。銃後における女性の労働や社会進出は、戦後の女性参政権獲得（イギリスでは1918年の第四回選挙法改正）に決定的な影響を与えた。
問5	答え 2 ロンドン海軍軍縮条約	浜口雄幸内閣は、財政緊縮と国際協調を掲げ、1930年に補助艦の保有比率を制限する条約に調印した。しかし、海軍軍令部や右翼、野党の立憲政友会などは、天皇の統帥権を侵すものであるとして「統帥権干犯」を主張し、政府を激しく攻撃した。この混乱の中で、首相の浜口雄幸は東京駅で狙撃され、重傷を負った。なお、主力艦の制限を行ったのは1922年のワシントン海軍軍縮条約である。
問6	答え 1 ボリシェヴィキ	1917年の十月革命において、レーニン率いるロシア社会民主労働党の多数派（左派）が武装蜂起を行い、臨時政府を打倒して政権を握った。この勢力はのちに共産党と改称した。少数派（穏健派）であるメンシェヴィキや、農民の支持を集めた社会革命党（エスエル）などと区別される。
問7	答え 4 バルト3国	第一次世界大戦後のロシア革命やロシア帝国の崩壊に伴い、エストニア、ラトヴィア、リトアニアは独立を果たした。しかし、1939年に締結された独ソ不可侵条約の秘密議定書において、これらの地域はソ連の勢力圏とされ、1940年にソ連によって強制的に併合されることとなった。
問8	答え 2 金輸出再禁止	世界恐慌による深刻な不況（昭和恐慌）に対処するため、1931年12月に成立した犬養毅内閣は、高橋是清大蔵大臣のもとで即座にこの政策を断行した。これにより日本は金本位制から離脱して管理通貨制度へと移行し、円相場の下落に伴う輸出急増によって、他国に先駆けて不況からの脱出を果たすこととなった。
問9	答え 1 統帥権干犯問題	ロンドン海軍軍縮条約の調印に際し、浜口雄幸内閣は海軍軍令部の反対を押し切って調印を断行した。これに対し、軍令部や野党は、天皇の軍隊統率権（統帥権）を内閣が侵犯したとして「統帥権干犯」を主張し、政府を激しく非難した。この問題は、軍部が政府の統制を脱して独走する契機となり、政党政治の崩壊を早める要因となった。
問10	答え 3 憲政の常道	1924年の加藤高明内閣の成立から1932年の五・一五事件による犬養毅内閣の倒壊まで、衆議院の多数派を占める政党の党首が首相となって内閣を組織する慣例が維持された。これは大日本帝国憲法に明記された制度ではなく、元老の推薦などを通じた運用上の慣例として定着したものである。